

柏市総合計画審議会（第 2 回）

今後 10 年間ににおける柏市の重点課題 委員の事前意見

子ども（子育て世代）	高齢者（健康）	地域活性化	コミュニティ（市民活動）	環境	インフラ・防災	行政（組織・財政等）
	健康長寿社会の実現					市民サービスの効率化（ICT） 官民協働の社会(オープンガバメント)の成立
少子化対策	高齢化対策					
2025 年以降の人口減少を食い止める方策		柏市内地域間での課題格差の認識	市民・民間協働の横断的な活用			
教育の充実と、子育て世代のニーズに応える環境や多世代交流の場の整備	「健康寿命」の延伸		市民の自立や市民同士の交流を生み、育てる施策			
高齢者を活用した子育てにやさしい地域の創出 学校教育体制の変革						柏市組織体系の変革
		商業中核都市としての魅力低下懸念	地域コミュニティの衰退		住環境品質の低下	
		まちの活性化	安心して暮らせる地域づくり			人口減少・分散化に対応した投資の最適化
子どもを中心としたまちづくり				自然との共存のまちづくり		行政の職員の意識改革と基盤づくり
子育て環境が不十分		農業の衰退懸念 ⇒農業を活かした地域経済の活性化				市民の市政関心の低下
子育て支援	高齢社会到来への対応				災害時の弱者対応	
子育て世帯が住みたいと思えるまちづくり	高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり					

次期計画にて意識すべき課題認識（今後 10 年間における本市の重点課題）

人口推計の結果から、第 5 次総合計画の期間である 2016～2025 年は人口が増加する最後の 10 年間となる見込みである。

このため、この 10 年間は来るべき人口減の時代に向けた備えをする必要がある。それは単に蓄財ということではなく、効率的な市政運営によって生じる余剰金を積極的に投資にまわし、10 年後の更に先に本市が自立的かつ持続的に発展していくための力を付けなくてはならない。そのために実施すべき課題を下記に示す。

重点課題①	●市民サービスの効率化 市民サービスは、住民がその街に住もうとする動機の重要なポイントである。 従って、これから住む人のみならず、既に住んでいる人にとってもサービスの維持拡充は必須である。逆にサービスの低下は市のブランドイメージの低下に直接つながるので、極力避けなければならない。しかし、人口が減っていく時代にこれまでと同等のサービスを提供しようとする、その予算確保が厳しい以上、サービスの効率化によって維持していく以外方法はない。 ① 現代は ICT 技術の進歩により効率化できる部分が多く潜在している。こうした部分を発見し、既存のシステムとうまく入れ替えていく事が重要であると考え。
重点課題②	●官民協働の社会(オープンガバメント)の成立 これまでの地域社会の課題解決は、自治体が中心となって進めてきたが、自治体にとっても予算減、人員減の波は来ており、もはや行政だけでは解決のためのリソースが足りない状況にある。 「柏市の現状について ①市民との協働」では、弱みに若い世代の転出入の多さや自治会加入率の低下といった地域のつながりの希薄化などが見られる一方で、ボランティア活動参加意識は高く、参加の機会がないだけという状況も考えられる。そうした市民の力を活かし、地域の問題解決を図っていく事は、市民サービスの効率化にもつながり、より魅力のある街づくりの一助となる。 こうした官民協働のケースは、国内でも「ちばレポ」に代表される取り組みとして徐々に始まっており、本市においても検討すべきと考える。
重点課題③	●健康長寿社会の実現 高齢化が社会問題とならないようにするためには、健康長寿社会の実現は必須である。 健康であれば、医療費の抑制につながるばかりか、ボランティアなどの働き手として期待できる。 「柏市の将来の課題 (1) 少子高齢化等がもたらす財政面の制約」の一般財源推移の表にあるように、税収がほぼ横ばいに対し、社会保障費の増大は財政圧迫の大きな要因となると予測される。そこで、将来の高齢者、すなわち今の若い世代の健康を維持する事がこの歳出を抑制する一つのキーポイントとなり得る。生活習慣病の予防など、市民のヘルスケアに積極的に投資する事で、将来の歳出削減につながる施策を打っておく事は今だからこそ出来る事と考える。(例：糖尿病から人工透析が必要になるケース、人工透析の公的補助金額は約 500 万円／年(但し、国・県・市で分担))

次期計画にて意識すべき課題認識（今後 10 年間に於ける本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果，第 1 会議の人口推計等各種説明等）から，中長期的（例えば今後 10 年間で）に見た時に，本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず，市全体を見渡した観点に立った時に，特に重要と考えられる課題を，最大 3 つまで挙げて下さい。そう考える根拠（バックデータ等）や理由（価値観等）も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	少子化対策 何故少子化が起こるのか、その原因と対策が最重要課題と考えます。 結婚年齢の上昇、更に妊娠、出産、子育て、教育など経済的理由を始め課題は多いと考えます。
重点課題②	高齢化対策 現在の人口統計から 10 年後には高齢化率は増加し、以後更に進んでいきます。このため社会保障費は急速に増えて行きます。この対策が必要です。
重点課題③	

※大変恐縮ですが，発表時間(最大 3 分)や，委員間での共有の都合上，1 ページ以内に納めて頂くよう，お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後10年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第1会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後10年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大3つまで挙げて下さい。そう考える根拠（バックデータ等）や理由（価値観等）も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	2025年以降の人口減少を食い止める方策をスタート ・高齢者に偏りがちな社会保障費ですが、子育て世代のニーズに応える積極的な戦略を重要課題として明記し、若い世代が住みたいと思う施策を立てるべきと考えます。 ・税収増に期待できる層へアピールするため、働く女性の子育て支援、子供の健康増進、教育の充実に力を入れることが重要だと考えます。 ・それらを支えるべく、柏の人的資源がもっと活用されなくてははいけません。（音楽、アート、文化・歴史、スポーツ、大学、農業、食、商工業、等々） ・諸条件が厳しい中ですが、施策の実現に努めると共に、併せて市の魅力のPRやイメージ戦略にも力を入れて頂き、積極的選択肢として選ばれにくく首都圏の中で依然として低い首都圏北東部のイメージの中にあるという現状を変えていく必要があります。
重点課題②	柏市内地域間での課題格差の認識 ・地域間高齢化率の違いから想像できるように、中心市街地と違った切り口（農業、食、健康、文化、環境など）で活用されれば柏の大きな資産となるものが、このまま手をこまねいては消えてしまいます。高齢化する住民のシビックプライドを高め、生きがい創出にもつながるはずです。手遅れになる前に始めるべきです。 ・まちづくりセンター的機能（=UDCK）が柏市北部にでき、来年度からは柏市中央部でもセンターが稼働する方向にあると聞いています。柏市総合計画においても、柏市南部にもまちづくりセンター的機能を設置することを前提に検討をすすめ、積極的に住民を巻き込むべきと考えます。またセンター間の連携を取り、シンクタンク的機能を持たせ、戦略を立てて発信することが大切です。 ・コストカットばかりでは希望が持てません。様々なジャンルにおいて、柏型の新領域創出の意気込みで、子供たちに誇れる活気ある未来への投資も考えるべきだと思います。
重点課題③	横断的な活用 ・財政的に市に出来ることが限られていく中で、市民や民間との協働はますます大切になります。協働できる市民活動に予算をつけていく戦略性も必要になると考えます。 ・コミュニティのあり方の変化、価値観の多様化への対応がより求められるでしょう。市民や民間との協働において、縦割り行政の発想ではなく横断的な活用が必要です。 【例】とびらプロジェクト（東京都美術館×東京藝大）+上野公園+教育=Museum Start あいうえの ※アートや既存施設を利用し、地縁にとらわれないコミュニティや教育機会の創出。さらには商店街とも連携して街の活性化へと広がりを見せている。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大3分)や、委員間での共有の都合上、1ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後 10 年間に於ける本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第 1 会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後 10 年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大 3 つまで挙げて下さい。そう考える根拠(バックデータ等)や理由(価値観等)も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題 ①	■子ども・子育て世代に対して - 柏市の現状 首都圏のベッドタウンとして発展。都市機能集積と活動が進み、生活都市としての条件が整いつつある。少子高齢化の課題は大きい、柏の葉地区を中心に子育て世帯を中心とした若い世代が流入。 - 今後の課題 人口増加が見込まれる子ども世代の教育の充実と、子育て世代のニーズに応える環境、多世代交流の場の整備が求められる。
重点課題 ②	■健康面について - 柏市の現状 入院患者数増加と病床数不足が予想される。急速な高齢化も予測され、介護・医療・生活保護などにかかる社会保障費の増大が見込まれる。(H32 には市民の 25%が高齢者) - 今後の課題 市民の（とくに高齢者を中心とした）「健康寿命」の延伸が求められる。地域包括支援センターなどの保健福祉施設との連携や、医療関連の情報提供の拠点が必要。
重点課題 ③	■市民交流について - 柏市の現状 交通インフラ拡充に伴う住宅増による新住民の増加に加え、沼南町を編入したことにより市域が拡大。社会的要因による人口増により、地域のつながりの希薄化や地域力の低下が懸念される。(※沼南町編入が 2005 年 3 月 28 日、つくばエクスプレス開通が同年 8 月 24 日) - 今後の課題 市民が地方自治の担い手となるよう、市民の自立や市民同士の交流を生み、育てる施策が求められる。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大 3 分)や、委員間での共有の都合上、1 ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後 10 年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第 1 会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後 10 年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大 3 つまで挙げて下さい。そう考える根拠(バックデータ等)や理由(価値観等)も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題 ①	【地域コミュニティの衰退】 今後、急速に高齢化(高齢化率 24→33%@2050 年)を迎える柏市の地域組織は、現在、約 300 町会(自治会、区含め)と、それらをまとめる 20 地域のふるさと協議会から構成される。そのほとんどの地域組織の共通の大きな課題は、「町会加入率の低下」「役員のなりて不在」「地域活動の負担感増加」である。これを放置すれば、地域組織は崩壊し、今でも自治体(柏市)への依存度が高い市民が存在するが、更に自治体(柏市)への依存度を高めることは否めない。 一方、柏市はその全てを賄える財源や人材を保有するには限界があり、市民の不安や不満が高まる可能性が大きい。市民自らが自助努力し、また市との協働により安心して暮らせる地域力を高める必要に迫られる。
重点課題 ②	【住環境品質の低下】：放射能、空き家、重犯罪発生、防災意識希薄 住みたい街ランキング 74 位/813 市町村(2012 年、生活ガイド)の柏市は、商業施設の充実や交通の利便性で高順位にあるものの、高齢化の急伸や安全面での評価は低い。今後の高齢化の急伸は、空き家や廃墟の増加、防災・防犯活動の低迷により、益々、住環境の悪化を免れない。 特に南部地域や昭和 30 年から 40 年にかけてベッタウン化が始まった地域での高齢化や空き家の増加は深刻であり、それらを前提とした「共助、近所、自助」主体の、安全・安心な街づくりが急務となる。
重点課題 ③	【商業中核都市としての魅力低下懸念】 従来の駅前商店街型の商業中核都市のスタイルは、高齢化による客層の変化や、購買層の求める品揃えの不足、他の商業都市との競争により、その魅力を維持することが難しくなると予想される。その魅力低下を招かぬよう、早い段階から商業中核都市としてのスタイルを変える必要がある。 柏駅や柏の葉キャンパス駅前の高層マンションの住民の利便性を確保すると同時に、周辺や南部地域に在住する市民が商圈に出向く足の便を確保し、また「道の駅」スタイルで、地域コミュニティの場と地域振興の場を合わせた商業施設の強化が必要となる。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大 3 分)や、委員間での共有の都合上、1 ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後10年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第1会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後10年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大3つまで挙げて下さい。そう考える根拠（バックデータ等）や理由（価値観等）も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	人口減少・分散化に対応した投資の最適化 ⇒ 柏市の人口は長期的には減少するが、その中で2025年頃までは市全体としては増加すると見込まれている。第1回の資料7「柏市の将来人口について」のうち、各コミュニティエリアの推計結果（p27）をみると、TXやJR常磐線の沿線に当たる田中地域、柏中央地域が当面増加するほか、風早北部・南部地域（旧昭南町）も2014年比約7%増加すると見られている。一方、柏中央地域に近い豊四季台地域や新田原地域、東武野田線の沿線に当たる増尾地域が減少するなど、人口の分散化の傾向が見て取れる。今後、市税収入の減少が見込まれる中で、限られた財源をいかに効率的・効果的に配分していくのが重要な課題となると考えられる。具体的には、投資の集中と選択の基準づくり、公共施設の集約・多機能化、コンパクトシティの方向性、都市の拠点と生活の場とを結ぶ公共交通の確保策などが検討課題となろう。
重点課題②	安心して暮らせる地域づくり（地域コミュニティの維持・確保） ⇒ 人口減少・高齢化に伴い、多くの地域で高齢者のみの世帯や空き地・空き家の増加が見込まれる。これにより適正に管理されない住環境が増加することとなり、防災・防犯上の懸念、商店の撤退、公共交通空白地域の増加などの問題が生じることとなる。このため、買い物弱者や交通弱者への対策、空き地・空き家の有効活用（例えば、子育て世帯による空き家の活用）、高齢者が多い地区に対する公的支援や共助のシステムづくりなどが求められる。 （参考）全世帯のうち高齢者（65歳以上）のみの世帯の割合：平成10年12.6%→平成25年23.1%（厚生労働省「平成25年国民生活基礎調査の概要」） 総住宅数に占める空き家率：平成10年11.5%→平成25年13.5%（総務省「平成25年住宅・土地統計調査（速報）結果の概要」）
重点課題③	まちの活性化（定住促進・来客増加・産業振興への取り組み） ⇒ 都市の衰退による負の側面（治安や景観の悪化、税収の減少等）を回避するためにも、まちの活性化は重要である。人口減少は全国共通の課題であり、今後、居住者や企業の呼び込み、集客などの面で近隣市との競争が避けられない。柏市の魅力（優位性）は何か、活性化のために不足しているものは何かということについての共通認識が必要である。道路、鉄道ともに柏市は交通の利便性が高いこと、柏の葉地域が新産業創出・育成に向けての先進的な場であるとともに良好な居住環境にあること、柏駅周辺は他の常磐線沿線にはない賑わいがあることなど、柏市の持つ特性を活かして、まちの活性化に資する対策を講じることが求められる。この取り組みの中で、柏ブランドと呼べるものを育成し、全国発信していくことが望まれる。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大3分)や、委員間での共有の都合上、1ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後１０年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第１会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後１０年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大３つまで挙げて下さい。そう考える根拠（バックデータ等）や理由（価値観等）も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	行政の職員の意識改革と基盤づくり 少子高齢化や不景気などにより、１０年後に向けて、さらに財政の縮小がせまられるなか、すべての課題に対して、解決を進めていくためには、市民との協働の推進や多様な主体との連携が必要となる。 市民との協働を進めるには、市民側の意識改革も必要であるが、市民と行政のお互いの立場を理解し、対等な立ち場で一緒に考え、共に汗をかき、市民の支援をしていく、行政職員の協働に対する意識改革が必要だと思う。 さらに複雑化し、多様な主体が関わる課題を解決していくためには、 ・行政各部署の横断的な連携づくり ・課題に合わせたプロジェクトチームの設置や部署を超えた人材の配置 ・市民と行政、また多様な主体をつなぐコーディネーターの育成や配置 ・高い意識を持った市民が市政に参画できる仕組みづくり など行政の基盤づくりが重点課題だと思う。
重点課題②	子どもを中心としたまちづくり 柏市の現状とその将来を考えると、子ども達の育成が一番の優先課題だと思う。 子どもを中心としたまちづくりを行うことで、様々な課題の解決が可能となる。 ・少子高齢化の課題は、子育て世代が柏市で子育てしたいと思える環境づくりを整えることで若い世代が流入することで解決する。 ・地域コミュニティの希薄やそれに伴う、防災・防犯、孤独死、いじめなどの課題も、子ども達を中心とした、多世代交流型の地域コミュニティの形成により解決する。 そのためには、小学校区（中学校区）と地縁組織を合わせて、地域と学校が連携し、地域で子どもを育てる環境づくりとつなぎ役となる人材の育成が必要である。 子どもが地域の多様な大人と接することで多様性や主体性が育つ。 また、子どもが地域活動に参画することで、地域に愛着心を持ち、地域も活性化する。 市としては、子どもの成長に合わせた行政の横断的な連携づくりと子どもがまちづくりに参画するための支援体制づくりが重要なポイントだと思う。
重点課題③	自然との共存のまちづくり 柏市は都市部と自然環境が身近に共存している魅力的な地域であり、この宝は後世に残していかなければならない。 自然と身近に触れることは環境の保全にもつながり、特に子ども達の日常的な自然体験は大人になっても、自然との共存の意識の高さを保つことにつながる。 地球温暖化の課題にしても、ＣＯ２の削減の取り組みも大事であるが、自然を育てるのは長い年月を要するので、植樹など森を育て、守る活動に早く着手すべきであり、森を育てることで、森がＣＯ２を吸収し、酸素を輩出することで解決に導くと思う。 身近な課題として、農家の高齢化や消費の減少から、農地の放棄や減少による、必要以上の開発による、生態系や自然環境の悪化などがある。そのためにも農地の税制改革や条例の制定、また農地の新たな活用法や消費の拡大など、農業を支援する仕組みづくりや、行政・企業・地域・ＮＰＯなどとの横断的な連携づくりが必要だと思う。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大３分)や、委員間での共有の都合上、１ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後10年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第1会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後10年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大3つまで挙げて下さい。そう考える根拠（バックデータ等）や理由（価値観等）も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	資料5 柏市の現状について②健康・福祉(P6) 1. 全国県内比較で小児科小児外科医師数が下回る 2. 待機児童がいる 3. 育児支援体制について市民満足度が低い 4. 子供の居場所づくりの取組について市民満足度が低い これに加え各地で問題になっている産婦人科医師も決して多いとは言えない。 人口減少・少子化・市税収入の減少傾向への対応を考えると上記の問題点が大きな足かせになる。基礎調査 P130 の流山市のプロモーション活動の例に見るとおり、若い夫婦・共働き・子育て世代の移住を促すには上記の問題点を克服しなければならない。もちろん既に柏市民であるこれらの世代に安心してもらえるようにするためにも。この問題を克服できたならば、人口減少時代以後、そのスピードにブレーキをかける役目を果たすはずだ。
重点課題②	資料5 柏市の現状について③活力・賑わい (P4) 1. 耕作放棄地の増加や農業就業人口の減少の懸念 2. 地域商店街の活性化に関する市民満足度の低さ 3. 観光情報の発信に関する市民重要度の低さ 首都圏近郊の田園都市・食糧農産品供給都市として、基幹産業とも言える農業の衰退を何が何でも食い止める必要がある。地産池消をさらに拡大するために、また、シャッター商店街活気づけるために、地域商店街の活性化とタイアップできるうえ、手賀沼周辺農家と市民・近隣都市住民とつなげるルートづくりによって沼南町めぐり観光ともつなげることができる。
重点課題③	資料5 柏市の現状について⑦自立都市実現を目指して(P8) 1. 市政の関心の低下 人口減・経済成長の限界という定常型社会を迎え、広く市民ニーズに応えることが困難になることを考えると、市民には市政の諸施策について、優先度を考えた理解が期待される。しかし、これは言うほど簡単なことではない。 市民の市政への関心が低下し、1/3 以上の市民が市政に対しあきらめを持つ（基礎調査 P127 市政に関心の無い理由の推移）というのは、行政にとっても、もちろん市民にとっても不幸なことであるばかりでなく、人口減少にもつながる重大な要因となる。顕在化しにくい課題だけにかなりやっかいなことだ。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大3分)や、委員間での共有の都合上、1ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後10年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第1会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後10年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大3つまで挙げて下さい。そう考える根拠(バックデータ等)や理由(価値観等)も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	高齢社会の到来への対応について 現在、柏の葉に健康未来都市かしわが稼動しておりますが、高齢者への周知も徐々に進んでおります。しかしながら、高齢者の移動範囲は限られており、遠方の高齢者は利用しにくいのが現状です。今後、高齢者が増加していく中で、多くの方が利用できる施設として拡充が必要と思います。拡充のための施設の検討をお願いします。
重点課題②	防災について 現在、弱者のためのk-netが立ち上がってから7～8年が経過しております。しかしながら、一部の地域を除き機能しているようには感じられません。災害が発生した時のことを考えると、非常に不安を覚えます。今後k-netを機能させるための体制作り又はそれに代わる体制を検討していただきたい。
重点課題③	子育て支援について 近年、子育て支援として量・質の拡充は進められておりますが、日曜・祝日に保育施設を利用する世帯については、増加しているにも関わらず、対応は進んでいないように思われます。施設の不足や負担が大きいため、利用が難しくなっています。利用しやすい施策の検討をお願いしたい。

※大変恐縮ですが、発表時間(最大3分)や、委員間での共有の都合上、1ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。

次期計画にて意識すべき課題認識（今後10年間における本市の重点課題）

参考情報（基礎調査結果、第1会議の人口推計等各種説明等）から、中長期的（例えば今後10年間で）に見た時に、本市はどのような課題に直面するとお考えでしょうか。

御専門の分野に限らず、市全体を見渡した観点に立った時に、特に重要と考えられる課題を、最大3つまで挙げて下さい。そう考える根拠（バックデータ等）や理由（価値観等）も併せてお示し頂けると幸いです。

重点課題①	子育て世帯が住みたいと思える柏市にしていくことが重要だと思う。 具体的には、教育・子育て・医療環境を充実させることや、防災・防犯体制やインフラ整備を充実させることが必要だと思う。 柏市ならではの魅力を、積極的に情報発信していくことも必要だと思う。 理由）柏市では、市税収入の4割以上が個人市民税によるものなので、子育て世帯が増えていけば、市税収入確保にもつながると思う。
重点課題②	65歳以上の市民が元気でいきいきと暮らせる柏市にしていくことが重要だと思う。 具体的には、地域活動や市民活動の支援を充実させることが必要だと思う。 理由）元気でいきいきした高齢者が増加すれば、医療費等の削減にもつながるし、地域コミュニティの活性化にもつながると思う。
重点課題③	

※大変恐縮ですが、発表時間(最大3分)や、委員間での共有の都合上、1ページ以内に納めて頂くよう、お願い致します。